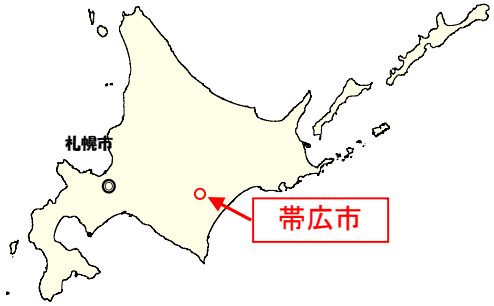
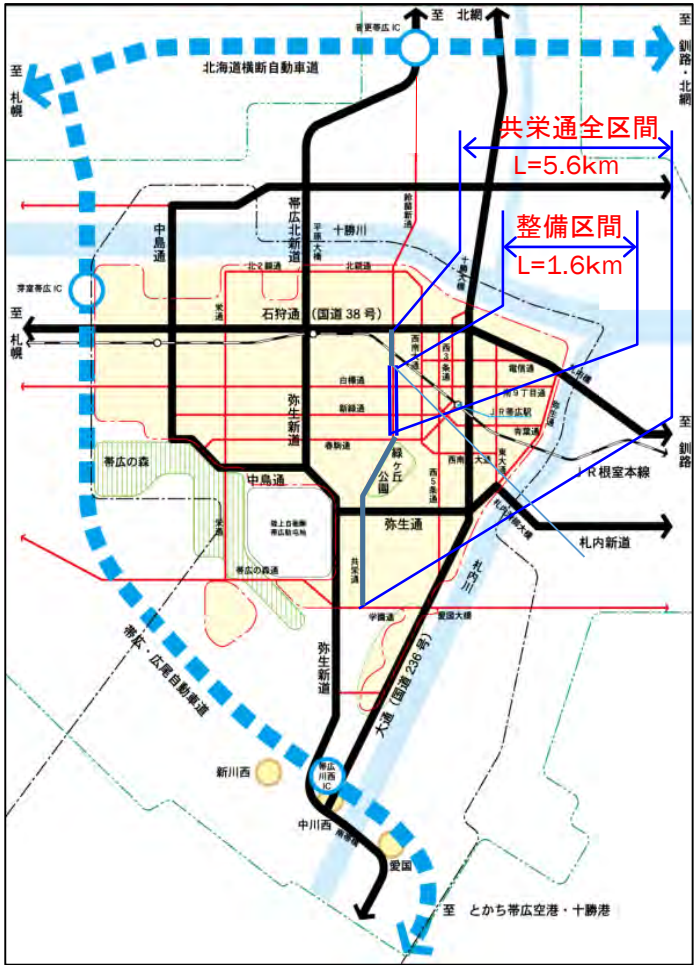
事 業 概 要

応募No.	1		
事業主体	北海道　十勝総合振興局　帯広建設管理部	事業箇所	北海道帯広市
応募者名	北海道		
ふりがな 事業名称	おびひろけんとしけいかくどうろ　3･3･10きょうえいどおりほか4　せいびじぎょう 帯広圏都市計画道路　3･3･10共栄通外４　整備事業		
事業概要 （400字以内）	本事業は、帯広市南部から動物園前をとおり、帯広競馬場、柏林台通、一般国道38号へとつながる5．6kmの幹線街路であるが、競馬場を通過する柏林台通～春駒通間1．6kmについて未整備となっている。 そのため、道路新設や道路拡幅・両側歩道の設置を実施するものである。 本事業による効果は以下である。 ●交通不能区間の解消により、安全で円滑な道路交通の確保を図る。 ●広域ネットワークを構成する北海道横断自動車道等のIC、観光施設および医療施設などへのアクセスの効率化を図る。 ●両側歩道の整備により、歩行者・自転車利用者の利便性、安全性の向上を図る。 ●橋梁整備と帯広競馬場内通過により、市街地の分断が解消し、避難経路としての機能性が向上する。		
事業規模	事業延長（km）	約1．6km	
	幅員（m）	4車線区間：25．0m　2車線：20．0m	
	事業期間（和暦）	平成27年7月16日～令和3年3月31日	
	事 業 費（億円）	約22億円	
URL	―		

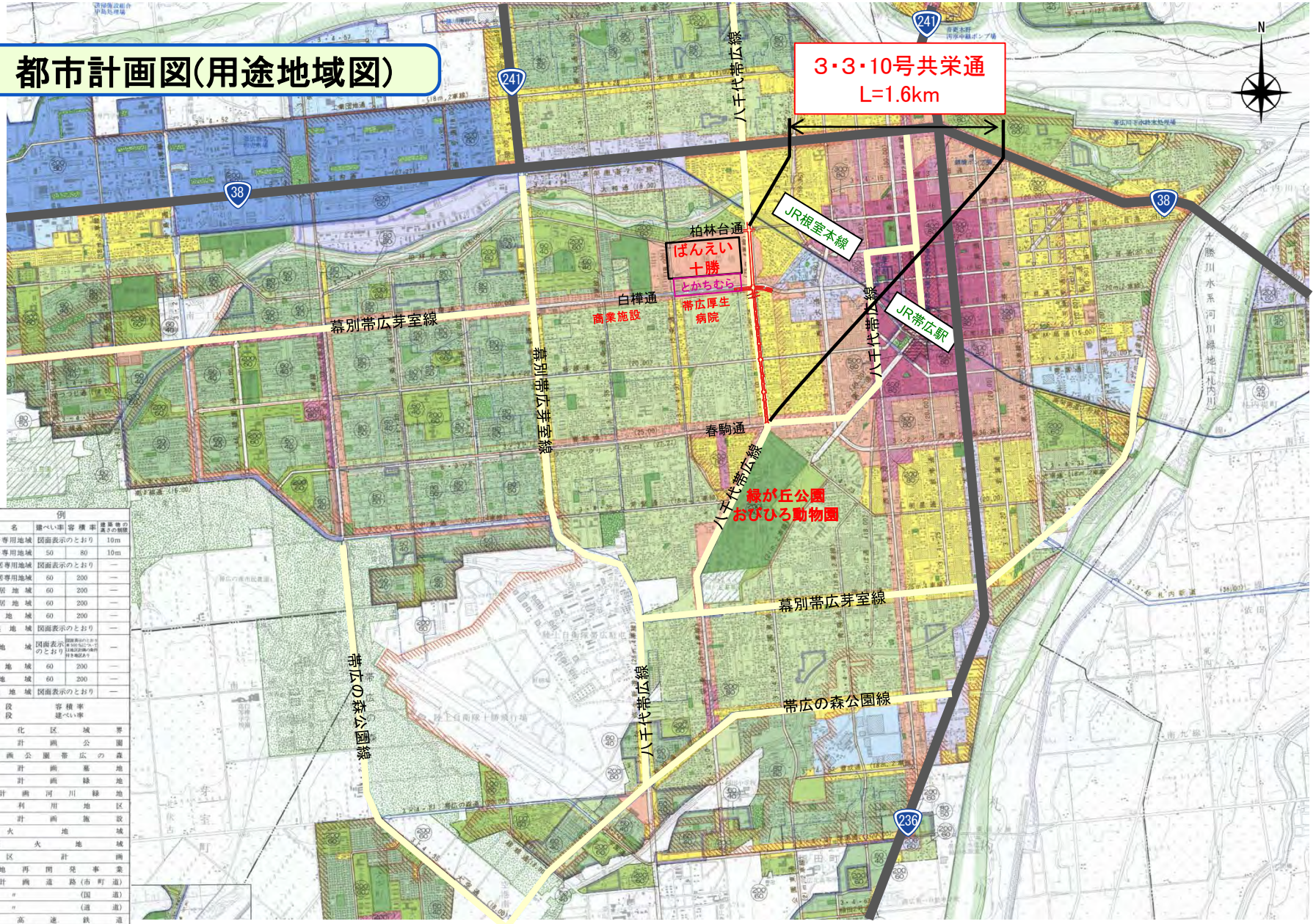
事 業 位 置 図


札幌市
帯広市


至 北網
至 釧路・北網
至 札幌
至 釧路
北海道横断自動車道
共栄通全区間
L=5.6km
整備区間
L=1.6km
石狩通（国道 38 号）
十勝川
中島通
帯広北新道
弥生新道
弥生通
帯広の森
緑ケ丘公園
JR根室本線
札内新道
帯広・広尾自動車道
大通（国道 236 号）
新川西
中川西
愛国
至 とかち帯広空港・十勝港

至 音更帯広IC
至 芽室帯広IC
至 幕別
至 帯広川西IC
帯広市
JR根室本線
柏林台駅
柏林台通
柏林台中町
柏林台南町
西町公園
ばんえい十勝
帯広競馬場
とかちむら
白樺通
帯広厚生病院
商業施設
文化ホール
JR帯広駅
春駒通
八千代帯広線
緑が丘公園
おびひろ動物園
3・3・10号共栄通外4
L=1.6km
4車線新設
整備区間
L=0.4km
2車線新設
整備区間
L=0.1km
2車線拡幅
整備区間
L=1.1km

都市計画図(用途地域図)



凡例

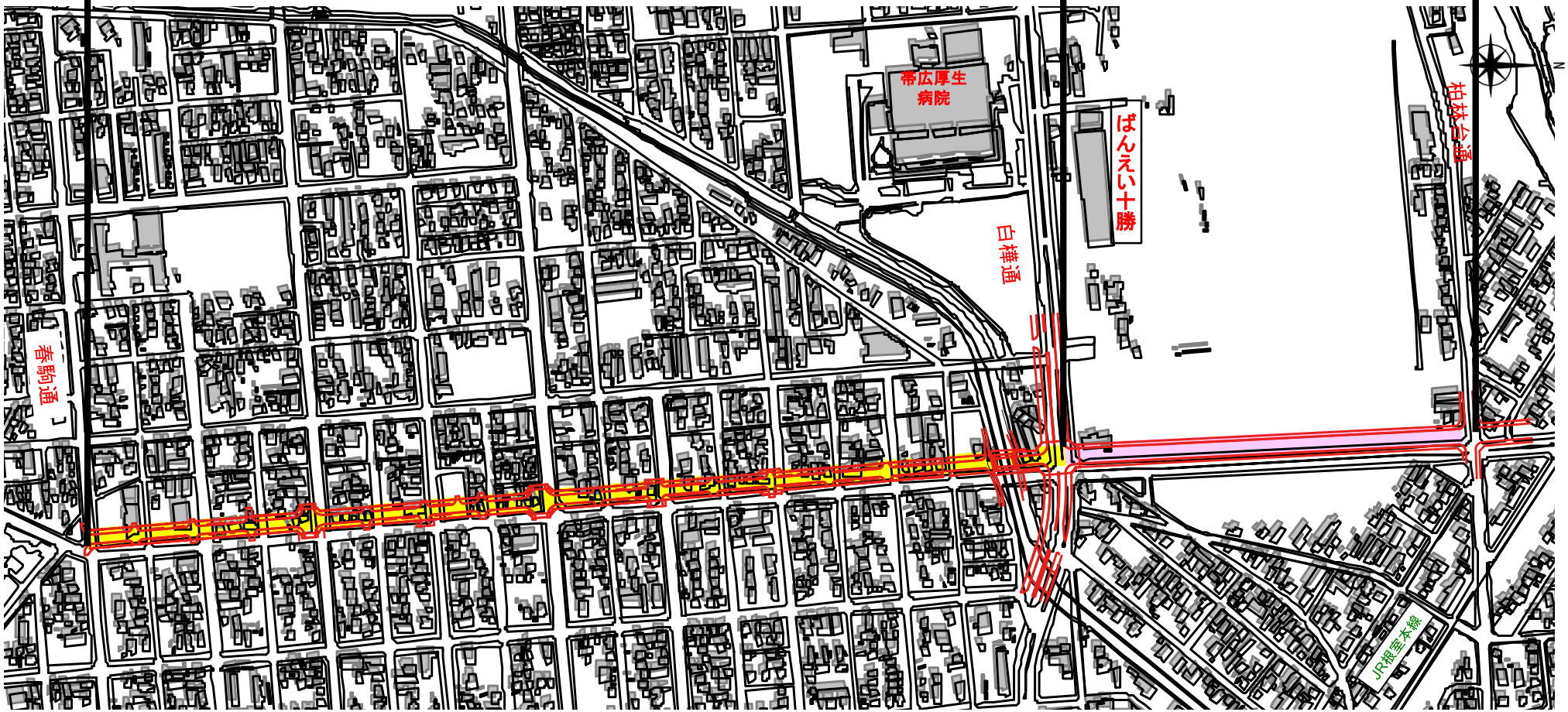
区分	地区名	建ぺい率	容積率	建築物の高さの制限
	第一種低層住居専用地域	図面表示のとおり		10m
	第二種低層住居専用地域	50	80	10m
	第一種中高層住居専用地域	図面表示のとおり		—
	第二種中高層住居専用地域	60	200	—
	第一種住居地域	60	200	—
	第二種住居地域	60	200	—
	準住居地域	60	200	—
	近隣商業地域	図面表示のとおり		—
	商業地域	図面表示のとおり	図面表示のとおり 第一種住居地域の容積率500%以下である地区は容積率400%とする地区は容積率300%とする地区は容積率200%とする地区	—
	準工業地域	60	200	—
	工業地域	60	200	—
	工業専用地域	図面表示のとおり		—
60/80	上段 容積率 下段 建ぺい率			
	市街化区域界			
	都市計画公園			
	都市計画公園帯広の森			
	都市計画墓地			
	都市計画緑地			
	都市計画河川緑地			
	高度利用地区			
	都市計画施設			
	防火地域			
	準防火地域			
	地区計画			
	市街地再開発事業			
	都市計画道路（市町道）			
	〃（国道）			
	〃（道道）			
	都市高速鉄道			
3・3・8	都市計画道路番号（区分・規模・番号）			
	都市計画河川			
	土地区画整理事業			
	人口集中地区（H12D.1.D）			

路線全体の進捗状況

都市計画道路3・3・10号共栄通 総延長L=1.6km　W＝20・25m（今回応募区間）

平成31年3月開通区間
延長L=1.2km　W＝20m

令和2年3月開通区間
延長L=0.4km　W＝25m



平成31年 3月開通区間
令和2年3月開通区間

平　面　図

事　業　前

白樺通
柏林台通
ばんえい
十勝
春駒通
写真③
写真②
写真①

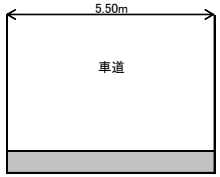
事　業　後

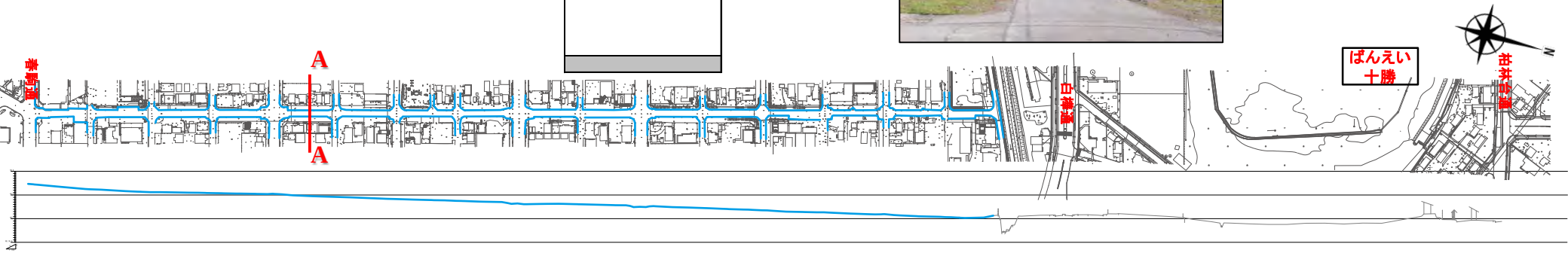
白樺通
柏林台通
ばんえい
十勝
春駒通
写真③
写真②
写真①

縦断図・横断図

事　　業　　前

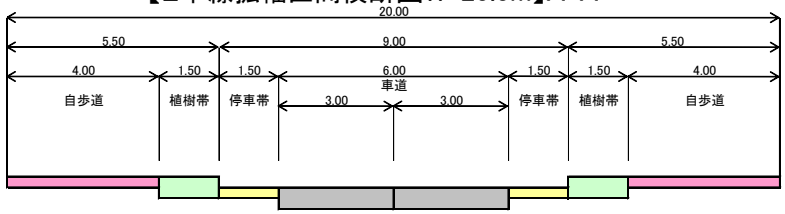
【2車線現況区間標準横断図W=5.5m】A−A



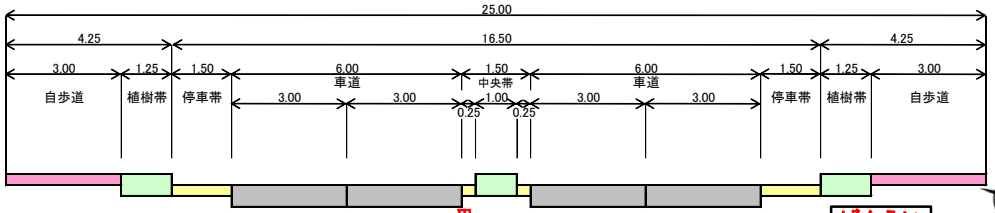


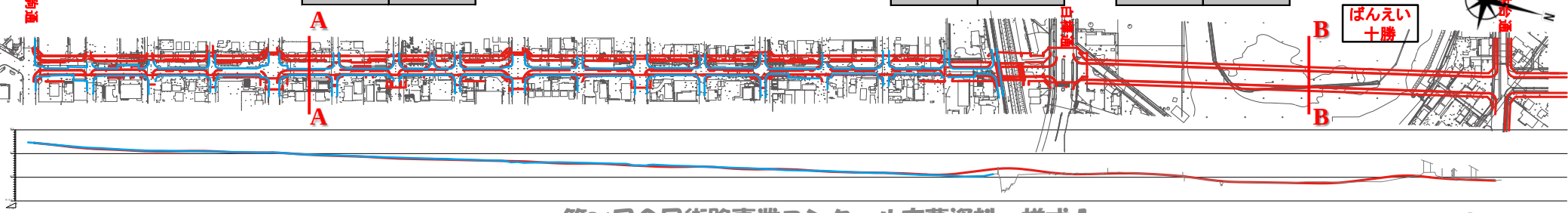
事　　業　　後

【2車線拡幅区間横断図W=20.0m】A−A



【4車線新設区間横断図W=25.0m】B−B





事　業　前　写　真

写真①

H25年10月撮影

写真②

H25年10月撮影

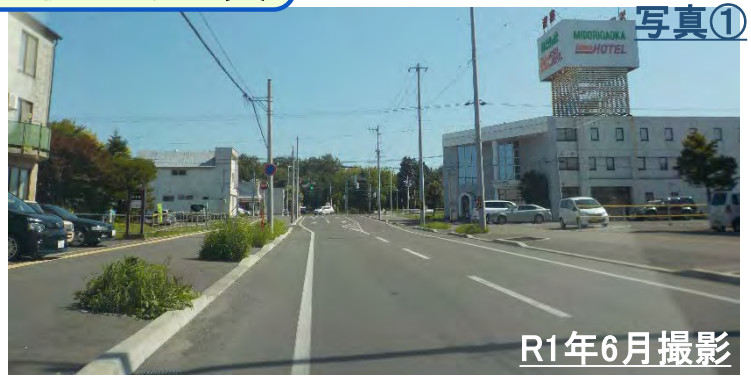
写真③

R1年9月撮影

事　業　後　写　真

（北海道：共栄通外４）

写真①



R1年6月撮影

写真②

R1年9月撮影

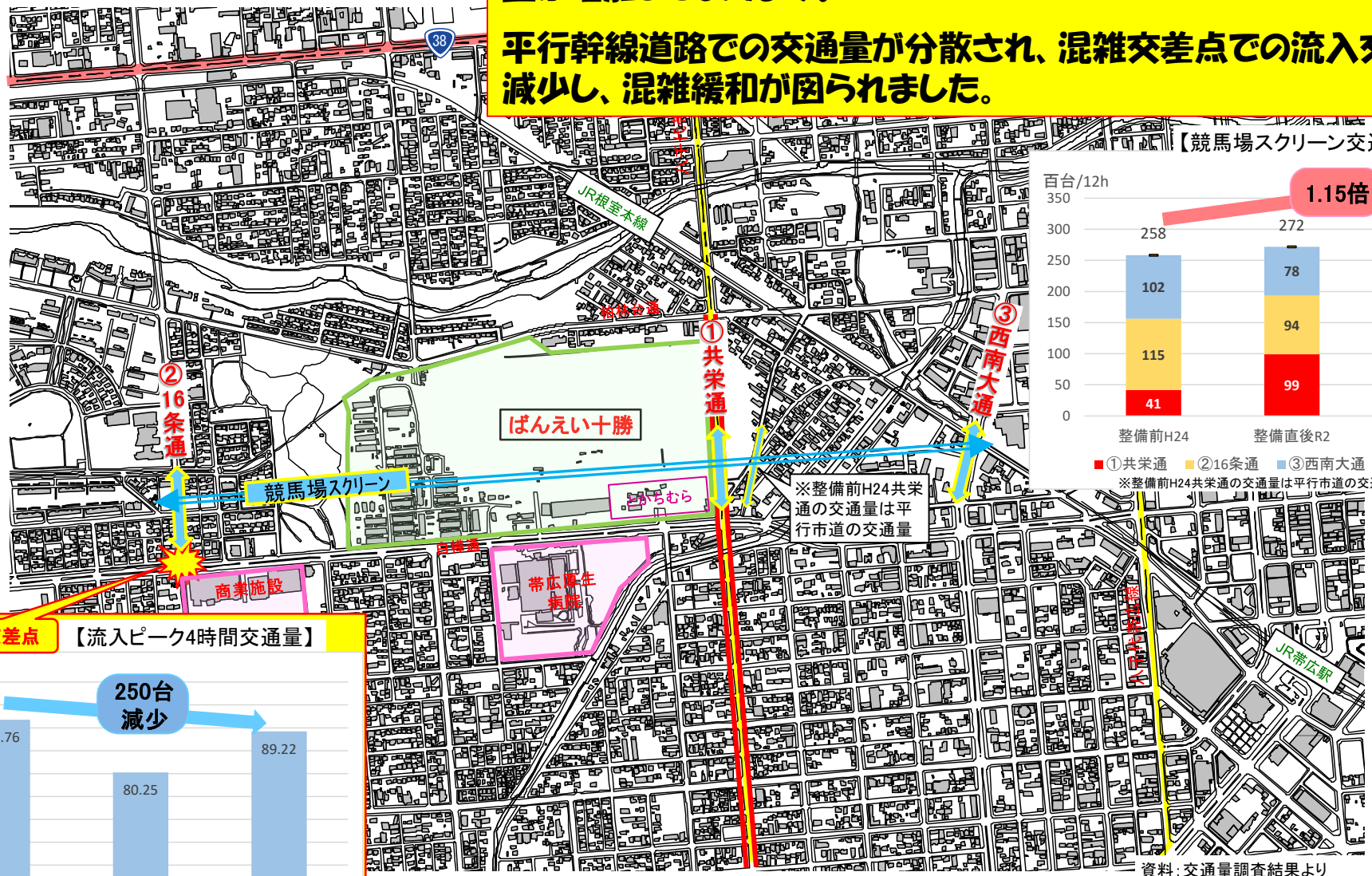
写真③

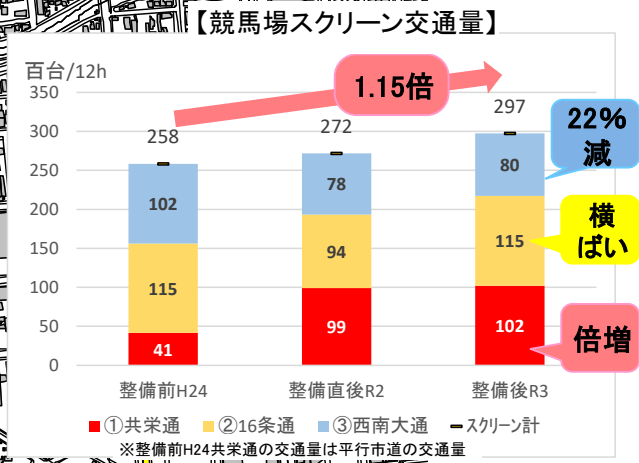
R2年3月撮影年

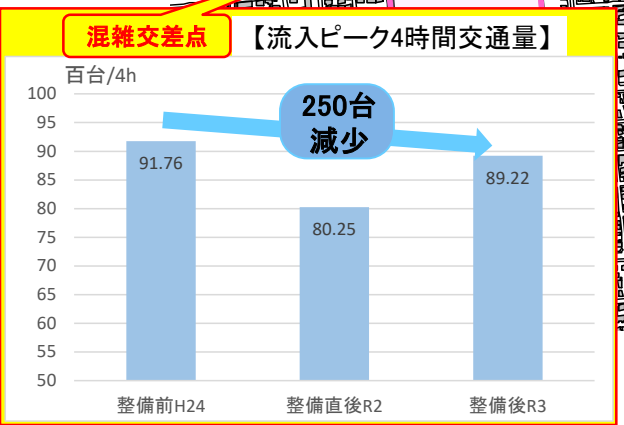
事業効果アピール資料

帯広競馬場で分断されていた地域間のスクリーン交通量は増加し交流量が増加しております。

平行幹線道路での交通量が分散され、混雑交差点での流入交通量が減少し、混雑緩和が図られました。







資料：交通量調査結果より
整備前H24：平成24年9月実査
整備直後R2：令和2年9月実査
整備後R3：令和3年10月実査

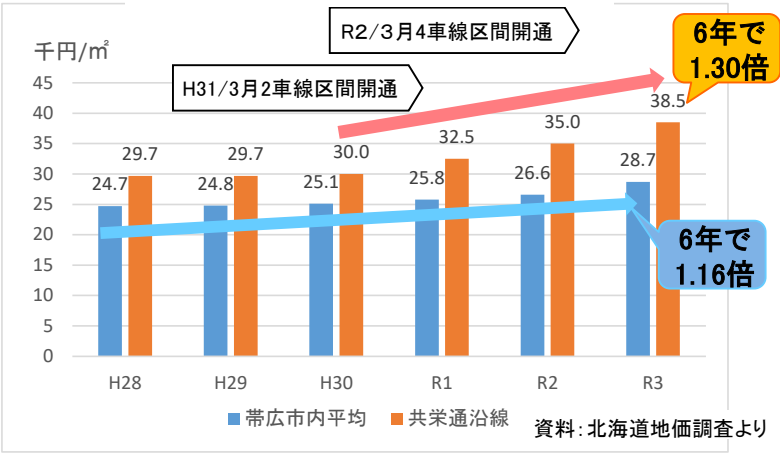
事業効果アピール資料

高速道路IC（帯広音更）～十勝医療の中心的役割を担っている帯広厚生病院間の所要時間が短縮されました。

共栄通沿線は市内各地へのアクセス向上から利便性の高い地域となり地価が上昇しております。

【共栄通を帯広厚生病院へ向かう救急車】

【帯広市住宅地　基準地標準価格の推移】



資料：北海道地価調査より

【帯広厚生病院】

帯広厚生病院搬送実績

【2019年04月～2020年03月実績】

救命救急センター利用患者数：9,586名

内1次救急患者：5,803名

内2次救急患者：2,695名

内3次救急患者：1,088名

内救急者搬送件数：4,832名

資料：帯広厚生病HPより

資料：H27道路交通センサス
H24・R3交通実態調査より
H24：平成24年9月実査
R3：令和3年10月実査

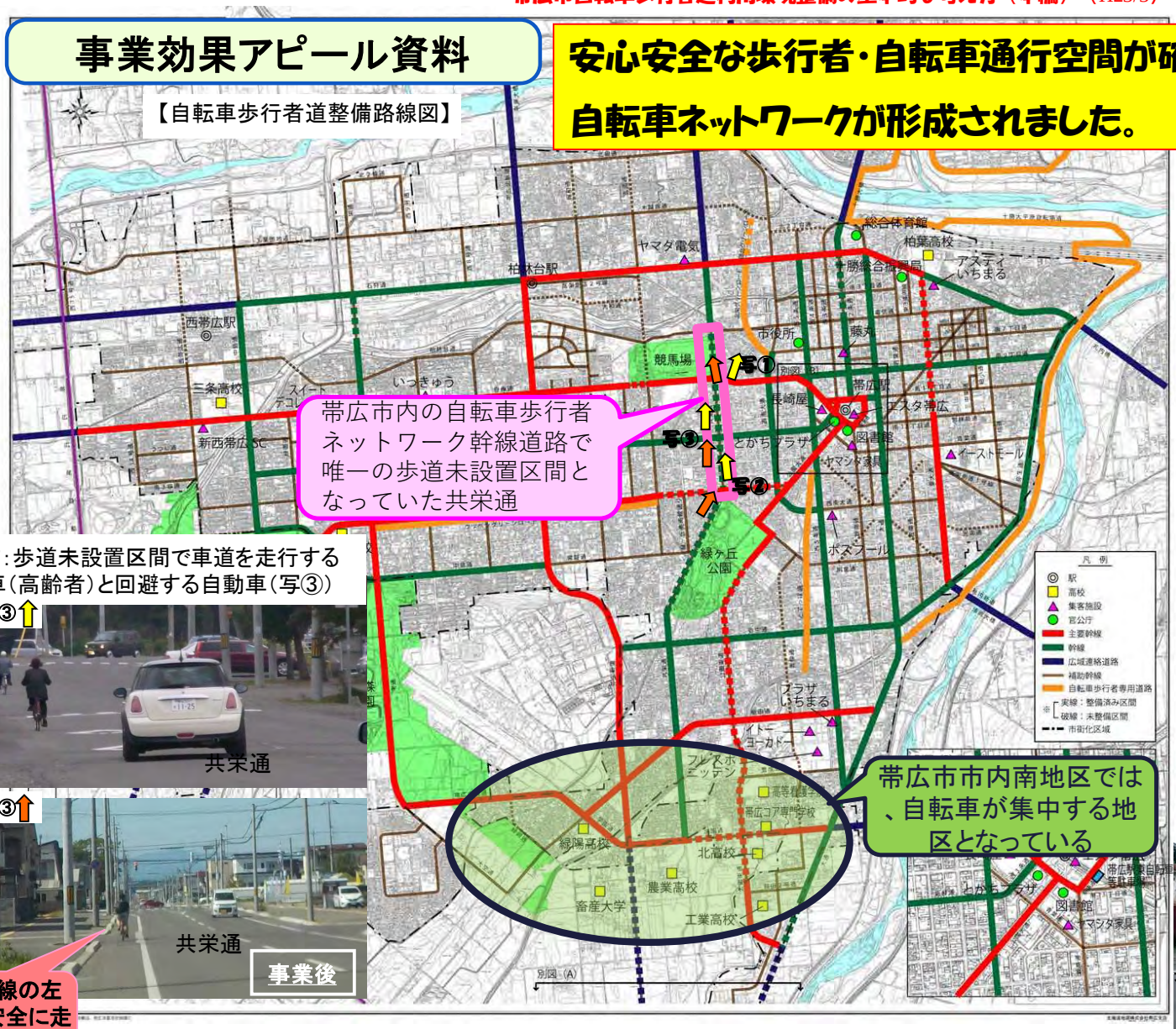
帯広市自転車歩行者道利用環境整備の基本的な考え方（本編）（H23/3）

事業効果アピール資料

安心安全な歩行者・自転車通行空間が確保されました。

自転車ネットワークが形成されました。

【自転車歩行者道整備路線図】



整備前：歩道未設置区間で車道を走行する自転車（高齢者）と回避する自動車（写③）

図中写③

図中写③

車道白線の左空間を安全に走行する自転車

整備前：通行不能区間平行現道の狭小歩道で輻輳する歩行者時自転車（写①）

図中写①

図中写①

安全にすれ違う自転車・歩行者

整備前：歩道未設置区間で車道を走行する乱横断走行する自転車（写②）

図中写②

図中写②

広い歩道で待機する通学自転車（隊列走行）

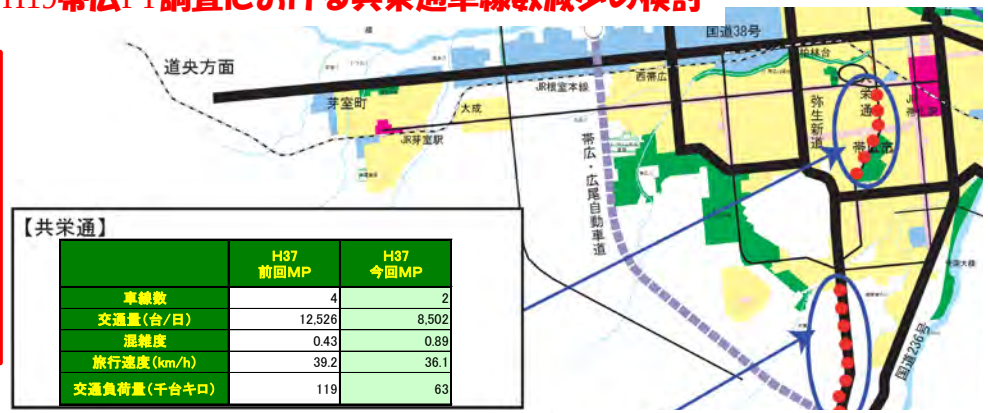
苦労や工夫等アピール資料

帯広競馬場を分断するため用地取得が難航が想定され事業環境が整わなかったが
帯広競馬場を取り巻く環境が変化したことで整備可能となった。
拡幅区間においては、沿線まちづくりへの影響を踏まえ必要な車線数・幅員構成に変更した。

過去1978（S53）競馬場

北海道競馬で使用する周回コースを分断することになり、競馬場がある限り現実的には整備は不可能

H19帯広PT調査における共栄通車線数減少の検討



【共栄通】

	H37 前回MP	H37 今回MP
車線数	4	2
交通量（台/日）	12,526	8,502
混雑度	0.43	0.89
旅行速度（km/h）	39.2	36.1
交通負荷量（千台キロ）	119	63

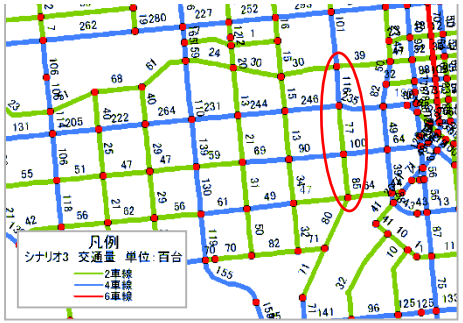
整備直前(2016：H28)競馬場

平成にはばんえい競馬のみ開催で周回コースが廃止されゴルフ練習場として運用・競馬場機能の分断は発生しない

※電子地形図（国土地理院）を加工して作成

H4帯広都市OD調査共栄通交通量図

H19帯広PT調査共栄通交通量図



受賞歴・報道資料

R2年1月1日十勝毎日新聞（日刊）1面

道東道―競馬場〝大動脈〟へ

3月にも共栄通開通

道東自動車道の音更帯広インターチェンジ（IC）から帯広市内の帯広競馬場近辺までをつなぐ二大ルートが今年、形成される。帯広市内を南北に貫く道道共栄通が3月にも全線開通、国道38号交点で音更帯広ICに向かう音更側の複数の道道と連結する。道東道と市内中心部のアクセスが飛躍的に高まり、物流・観光、救急搬送などで効果を発揮する。帯広側では市街地の再整備も誘発するとみられ、十勝農協連は共栄通沿いの競馬場内に、農協連ビル（西3南7）を移転・新築する計画だ。

（中島佑斗、安田義教）

共栄通は帯広農業高から動物園前、春駒通（西12南17）、帯広競馬場・白樺通（西12南9）、柏林台通（新町西5・6）を経由、国道38号（西12北1）につながる地域内幹線。

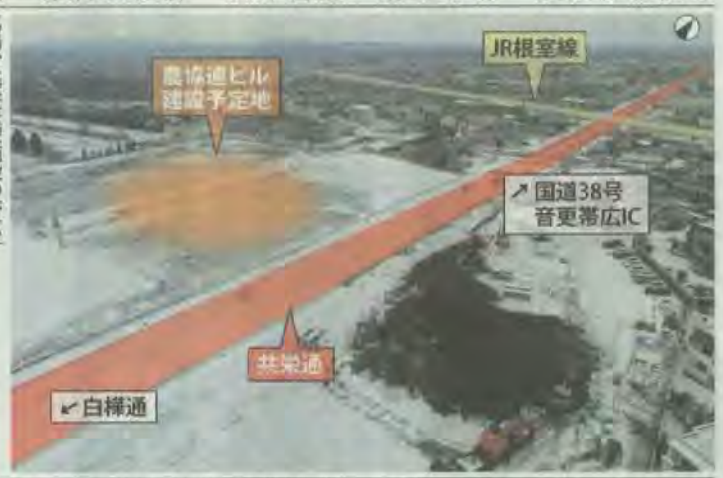
十勝総合振興局帯広建設管理部は2016年度から春駒通―柏林台通間の約1・6㌔の整備に着手。春駒通―白樺通間（1・1㌔）の拡幅と橋りょう建設は完了、競馬場内を通過する白樺通―柏林台通間（460㍍）を残すのみとなっていた。全体事業費は22億円。

白樺通―柏林台通間は片側2車線で、昨年末までに路盤工事が終了。今月から車道の舗装や歩道工事に着手し、3月末までの開通を目指す。

共栄通が開通すると、国道38号交点から音更側に向かう道道2路線と連結。音更帯広ICから、すずらん大橋経由で、帯広市中心部や観光名所でもある帯広競馬場、基幹医療施設の帯広厚生病院に一直線で向かうことができる。

帯広圏を縦貫する幹線としては、国道236号・241号（帯広北バイパス）・道道弥生新道と並ぶ第3の〝動脈ルート〟になる。

帯広建設管理部は「帯広厚生病院に搬送される患者の救命率の向上や周辺道路の混雑解消に役立ち（住民生活の）利便性が高まる」としている。



整備中の共栄通。競馬場敷地内を通過し、道東道音更帯広IC方面に直結する（ドローンで新井拓海撮影）

農協連ビル 場内に移転

十勝農協連は老朽化する農協連ビルを、所有する帯広競馬場の共栄通側敷地（帯広市西12南6など）で整備する考えだ。23年7月の完成を目指す。

整備予定地は帯広厚生病院の職員用駐車場の北側にある2・3㌶。新ビルと駐車場を整備する。建設委員会を設けて検討に入っており、現在のテナントの意向などを踏まえて建設規模を決める。

農協連ビルは1969年7月に完成。農協連事務所のほかJA道中央会帯広支所、ホクレン帯広支所、JA道信連帯広支所、農協観光帯広支店など農業関連団体が入居している。建物の老朽化に加え、駐車場も手狭になっていた。

山本勝博会長（JA中札内村組合長）は「北からも南からも車で来やすい場所。大きな集会を開ける機能も持たせたい」と話す。

スペースポート実現への方策探る

「宇宙」の存在が身近になってきました。国内の宇宙利用は官主導から民主体に。次世代通信サービスや自動運転といった技術革新には人工衛星からの情報が欠かせず、宇宙旅行の話題も増えています。

大樹町が三十数年前から掲げるスペースポート（宇宙港）構想に対しては、道庁や経済界で支援する動きが出ています。インターステラテクノロジズ（IST）による観測ロケットの打ち上げ成功によって、その機運や期待はより高まりました。これらの動きを北海道・十勝の産業集積や地

宇宙港への道